



2019年11月14日

各 位

会 社 名 イメージ情報開発株式会社
代 表 者 代表取締役社長 代永 拓史
(コード番号 3803)
問 合 せ 先 常務取締役経営管理室長 佐藤 将夫
(TEL:03-5217-7811)

2020年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2019年5月20日に公表いたしました2020年3月期第2四半期累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)の連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異(2019年4月1日～2019年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	390	△12	△12	36	17円93銭
今回実績(B)	355	△28	△26	△31	△13円76銭
増減額(B)-(A)	△35	△16	△14	△67	—
増減率	△8.8%	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	348	△53	△53	△61	△36円84銭

2. 差異の理由

当第2四半期累計期間の連結業績におきましては、売上高ではオープンソースを活用した新たな事業を今後の主力事業とすべく要員を投入したことから、当初計画していた受注案件を引き受けることができず、前回の予想を8.8%下回る結果となりました。

営業利益および経常利益は、売上原価及び販売費及び一般管理費の圧縮に努めましたが、売上高計画値と実績値との乖離を補完できず、予想を下回る結果となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益におきましては、貸付金回収による特別利益の計上を見込んでおりましたが、当第2四半期累計期間では実現できず、また2019年8月14日付「特別損失の計上に関するお知らせ」においてお知らせしましたように2014年3月期有価証券報告書に係る課徴金勧告を受け、6百万円を第1四半期連結累計期間に特別損失を計上したこと等により、前回の予想を大幅に下回る結果となりました。

なお、通期の業績予想につきましては、技術力向上の成果が見込まれること、並びに貸付金の回収に継続して取り組むことから前回予想数値を据え置きますが、今後の業績推移に応じて修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

以 上